



卒業後の進路を考え職業を知ろう

今の学習を活かせる生き方を②①・最終回前半

『働く』ということ・・・

顔

仕事は なんでもいい

一生けんめいに 生きている人の

顔は みんな美しい

美しい顔に なりたい

みつを

さて・・・

- ◆君達 15 歳！自由と可能性をもっている。だからこそ逆に自分の未来に対して不安と戸惑いがあるのかもしれない。（昔は職業選択の自由はなかったからね）
「13 歳のハローワーク」という本にこう書かれていました。

この世の中には二種類の人間（大人）しかいない。
それは「偉い人と普通の人」でもなく「金持ちと貧乏人」でもなく
「悪い人と良い人」でもなく「利口な人とバカな人」でもない。
それは「自分の好きな仕事、自分に向いている職業で
生活の糧を得ている人と、そうでない人」だ。

そして、自分の興味・関心・適正・能力が、
何に向いているかを考えるとき
「自分の好奇心」がポイントになる。
さらにその好奇心を失うと、
世の中（世界）を知ろうとするエネルギーも失ってしまう。・・・と

- ◆確かに、大人になって、何らかの仕事で生活の糧を得なければなりません。
また、ある意味大人は（特に日本では）、自分の職業・仕事を通じて世界を見たり、物事を感じたり、考えたり、対処したりしている。

- ◆つまり、職業・仕事が「世の中＝世間」とつながる「入り口」になっている。
僕なら美術に好奇心があった。そして今、「美術教師という職業」に就き、その職業を通して世間を見ている。

- ◆保育士なら子どもに好奇心を持ち、保育士という立場で世間とつながっているということになる。看護師なら看護師の立場で、サラマンならその会社の立場で・・・
だから、職業・仕事（興味関心・適正能力＝好奇心）について考えなければならない。

さあ自分の好奇心でもって、これから先の自分を考えてください、
しっかりと自分を見つめてね。

- ◆でもでも
「まだまだ、先の事は考えられないよお」「自分が何に向いているのかわからないよお」という声も理解できる。確かに、先のことは神様しかわからない。

でもなるべく早く、自分の好きな学問やスポーツ、技術、職業などを選べることができれば（どんな関係の仕事がしたいのかという方向性だけでも）、それだけアドバンテージ（有利性）が生まれてくると僕も思うからネ。

考えられない、わからない、何とかなるさ、今が楽しければ・・・

それでは、未来は切り開けないで！！

なりゆきまかせの客体から 自分の歴史をつくる主体に自分を変えろ！！

- ◆まだまだ将来の目標となる職業（夢）がない生徒も多いだろう。でも努力（学習）することを地道に続けることには変わりない。その努力の向こうに新しい世界が見えてくる！！

追伸：

実力テストの結果はどうだった？ 「夏休みから自分は取り組んだ！！」と言える人は、ステキだね。次は中間テスト、日々の授業や提出物を大切にね。
『毎日の授業で新しく習った単元をその授業内で完全理解！するんだあ』
という意志力と集中力を。